

2026年3月期第2四半期決算

2026年3月期業績予想

中期経営計画の進捗

オリエンタル白石株式会社（プライム市場1786）

2025年11月27日
代表取締役社長 大野達也



Agenda

- I 2026年3月期第2四半期決算概要
- II 2026年3月期業績予想
- III 中期経営計画（2023-2025）の概要及び進捗



I

2026年3月期第2四半期決算概要



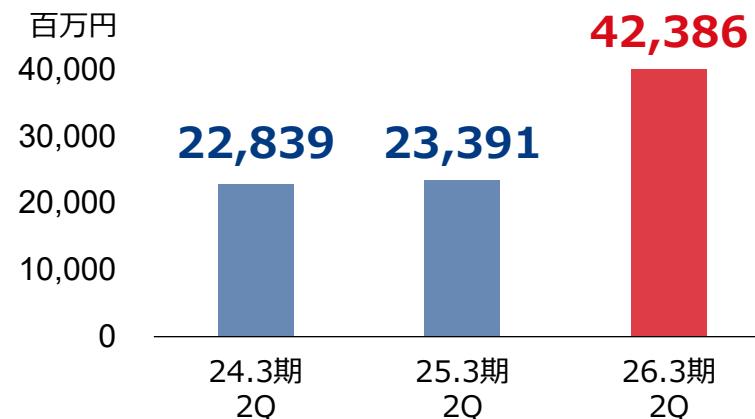
オリエンタル白石株式会社

受注・受注残高

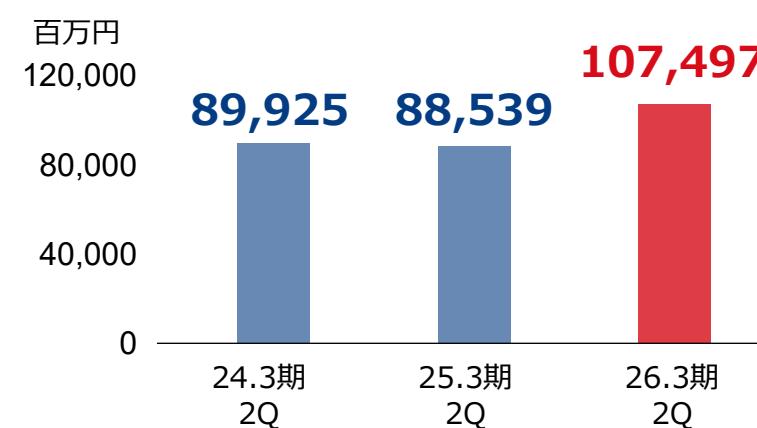
単位：百万円

	2024年3月期 第2四半期 実績	2025年3月期 第2四半期 実績	2026年3月期 第2四半期 実績	前年同期比 増減率 (%)	コメント
受注高	22,839	23,391	42,386	81.2	・ケーソン*下請案件、中央新幹線上下部一式、大規模更新継続契約を中心に受注を確保。
受注残高	89,925	88,539	107,497	21.4	・当期受注のケーソンや補修補強に加え、前期受注の大型建築プレキャスト案件により受注残高を確保。 ・2Q段階でOSJBHD発足以来12年間で最高の受注残高。

受注高



受注残高

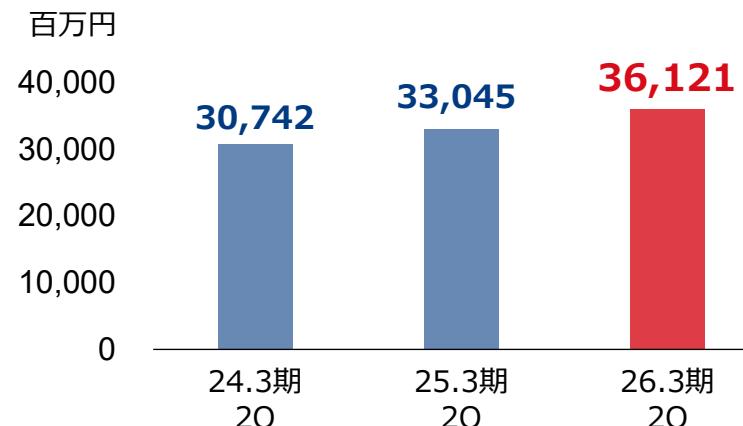


*ケーソン：ニューマチックケーソン

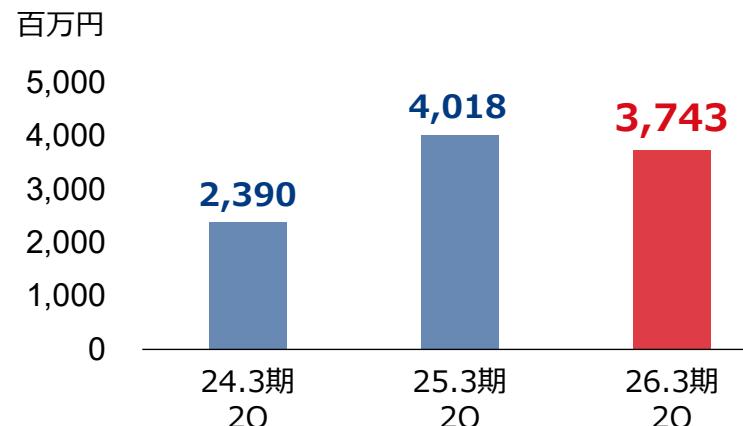
単位：百万円

	2024年3月期 第2四半期 実績	2025年3月期 第2四半期 実績	2026年3月期 第2四半期 実績	前年同期比 増減率 (%)	コメント
売上高	30,742	33,045	36,121	9.3	・手持ち工事の順調な進捗と、今年度よりグループに加わった子会社の売上を加算。
売上総利益	5,607	6,864	7,343	7.0	
営業利益	2,390	4,018	3,743	△6.9	・補修補強工事の設計変更やケーソン工事の利益改善が貢献し、一定の利益を確保。
経常利益	2,453	4,060	3,765	△7.3	・第3四半期以降も補修補強工事などの円滑な工事進捗により目標達成を見込む。
親会社株式に帰属する 中間純利益	1,674	2,739	2,632	△3.9	

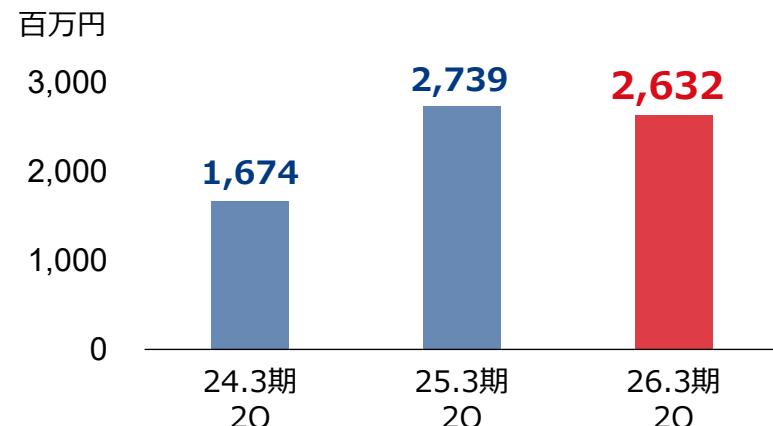
■ 売上高



■ 営業利益



■ 中間純利益



単位：百万円

主な増減要因

● 流動資産

現金及び預金	+455
受取手形・完成工事未収入金等	+645
未成工事支出金	△1,323

前期末比 1,721 (22.1%) ↑

● 固定資産

建物及び構築物	+974
機械及び装置	+165
投資有価証券	+569

主な増減要因

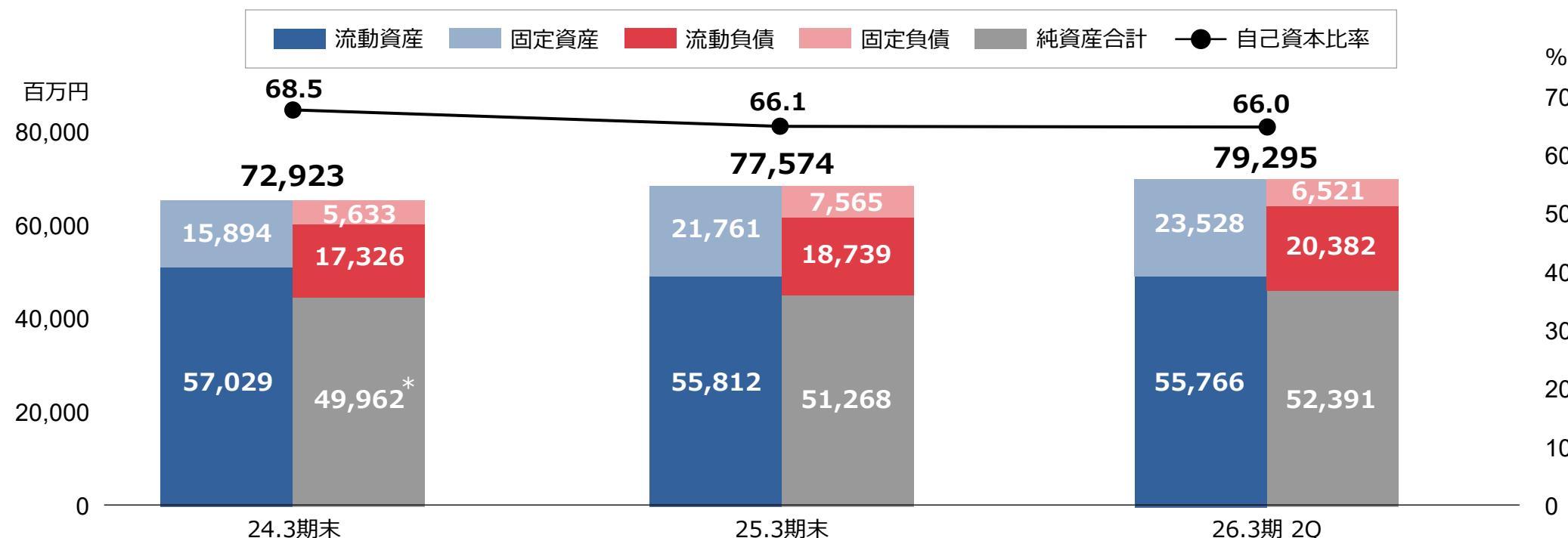
● 流動負債

未成工事受入金	△704
未払消費税等	△1,407
短期借入金	+1,080
預り金	+1,676
賞与引当金	+969

前期末比 598 (22.7%) ↑

● 固定負債

長期借入金	△192
長期未払金	△314
退職給付に係る負債	△452



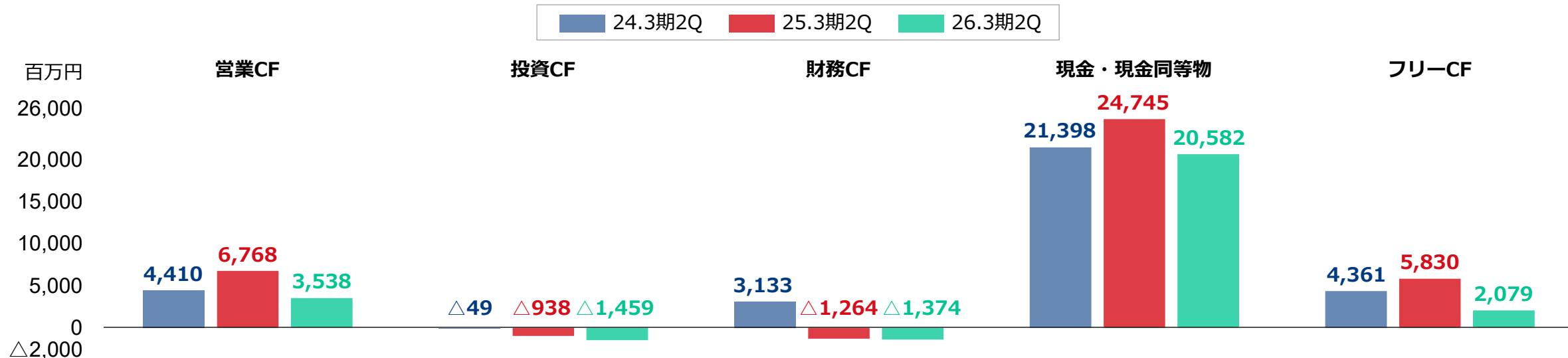
* 資本業務提携による第三者割当増資により資本金および資本準備金50億円増

キャッシュ・フローの推移

単位：百万円

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期
営業CF	4,410	6,768	3,538
投資CF	△49	△938	△1,459
財務CF	3,133	△1,264	△1,374
現金・現金同等物中間期末残高	21,398	24,745	20,582
フリーCF*	4,361	5,830	2,079

*フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー - 投資キャッシュフロー





II

2026年3月期業績予想

01

建設業を取り巻く事業環境

- ① 2025年度の建設投資は、
74兆9,300億円（前年度比1.3%増）の見通し
- ② 政府建設投資は24兆500億円（前年度比1.6%増）
前年度並みの予算確保により、防災、減災、国土強靭化や
インフラ老朽化対策を継続して実施
- ③ 令和7年度の国土強靭化関係予算
国土強靭化関係予算は5兆3,451億円
(うち公共事業関係費は4兆706億円、国土交通省は3兆6,245億
円、防衛省は7,856億円)
- ④ NEXCO三社（東・中・西日本高速道路）の
2025年度の事業計画（新設、改築及び維持、修繕、災害復旧）
は、4兆640億円（東日本：1兆3,064億円、中日本：1兆2,075
億円、西日本：1兆5,501億円）
NEXCO三社の2025年度、
大規模更新及び大規模修繕の事業計画は、9,772億円
(東日本：3,167億円、中日本：2,072億円、西日本：4,533億
円)（前年度：7,605億円、前年度比22.1%増）

①② 4/11建設経済研究所と経済調査会の発表

③ 12月内閣官房 ④ 3/27公表NEXCO三事業計画

02

当社グループ事業の強みを發揮！

- 高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高速道路等の6
車線化等において当社グループの新設橋梁（PC*橋、鋼橋）の
設計・施工力をもって対応
- 大規模更新事業を始めとするインフラ老朽化対策において、
床版取替、橋梁架替、耐震補強、脱塩等の当社開発工法を駆使
- 激甚化、頻発化する台風または豪雨対策の調整池、雨水ポンプ場、
貯留管（シールドトンネルの立坑）にケーソン工法を提案
- 全国で行われる防衛設備の整備に、当社の建築プレキャスト技術
を活用
- 治水、インフラ老朽化、国土強靭化、環境問題への対策にグル
ープ連携して対応

*PC（プレストレスコンクリート）：

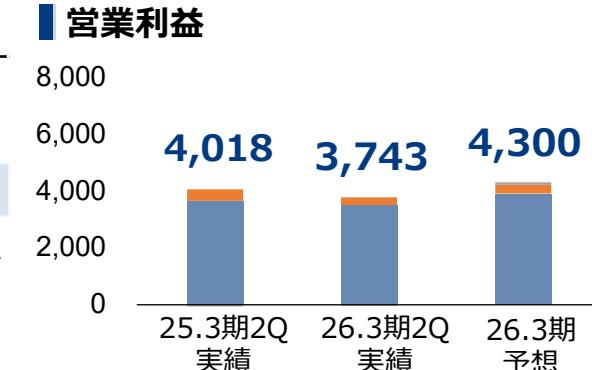
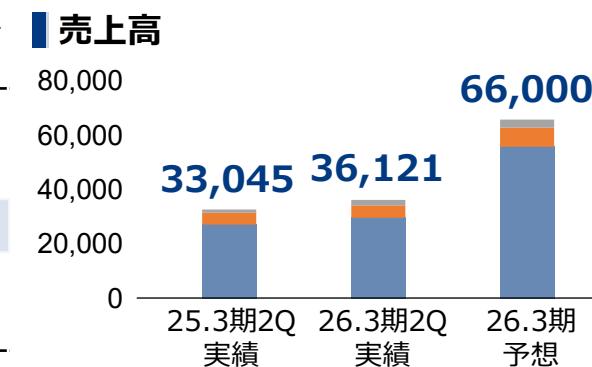
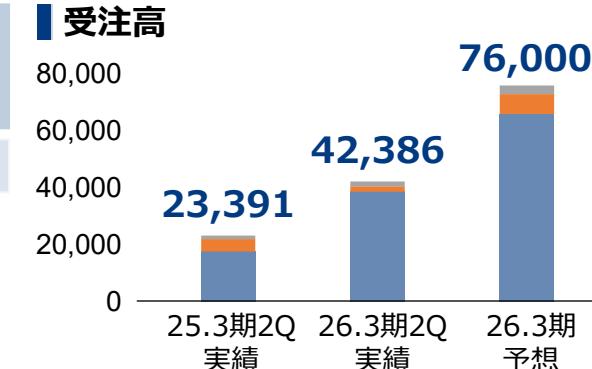
高強度の鋼材で圧縮応力を与えることにより補強したコンクリート。軽量で高品質・高耐久

建設事業 鋼構造物事業 港湾事業

単位 百万円	25.3期2Q	26.3期2Q	26.3期
	実績	実績	予想
受注高*	23,391	42,386	76,000
建設事業	17,658	38,722	66,000
鋼構造物事業	4,386	1,915	7,000
港湾事業	1,227	1,618	3,000
売上高*	33,045	36,121	66,000
建設事業	27,440	29,826	56,000
鋼構造物事業	4,245	4,661	7,000
港湾事業	1,237	1,502	3,000
営業利益*	4,018	3,743	4,300
建設事業	3,645	3,499	3,900
鋼構造物事業	405	268	300
港湾事業	△67	△44	100
経常利益	4,060	3,765	4,300
親会社に帰属する純利益	2,739	2,632	2,800

* 受注高・売上高・営業利益
太陽光発電事業、不動産賃貸事業及びインターネット関連事業、セグメント間取引消去等を含む

コメント			
受注高			
建設事業			大型案件の受注確保により当期着地を80億円上方修正。 上期に続き補修補強、ケーソン掛けん引し、PC建築の増加による更なる上積みを予測。
鋼構造物事業			補修補強の下請を中心とした受注展開に加え、塗装塗替や建築案件に挑戦。
港湾事業			
建設事業			下期の港湾工事の確実な受注に加え、土木工事の確保によって目標達成を予測。
売上高			
建設事業			PC土木、補修補強、ケーソンを中心に売上を確保。
鋼構造物事業			手持ちの新設橋梁や、補修補強の元下請工事を中心に売上を確保。
港湾事業			
建設事業			手持ちの土木工事に加え、下期に発注の港湾工事により、目標達成を予測。
利益			
連結			工事全般の安定的な進捗を確保するとともに、グループ一体となって目標達成を目指す。



上下部一体工事

中央新幹線
加賀美高架橋

- ◆ 発注者 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 関東甲信工事局
- ◆ 契約者 オリエンタル白石・ピースコンストラクション・岩田地崎建設 特定共同建設企業体
- ◆ 工事概要 3径間連続PC箱桁ラーメン橋1連、3径間連続PC箱桁ラーメン橋2連、
2径間連続PC箱桁ラーメン橋4連、2径間連続PC箱桁橋1連（上部工総延長約800m）、
RC橋脚4基、ニューマチックケーソン2基、鋼管ソイルセメント杭242本、工事用道路1式

ケーソン工事

城北中央公園
調整池ケーソン工事
(その2)

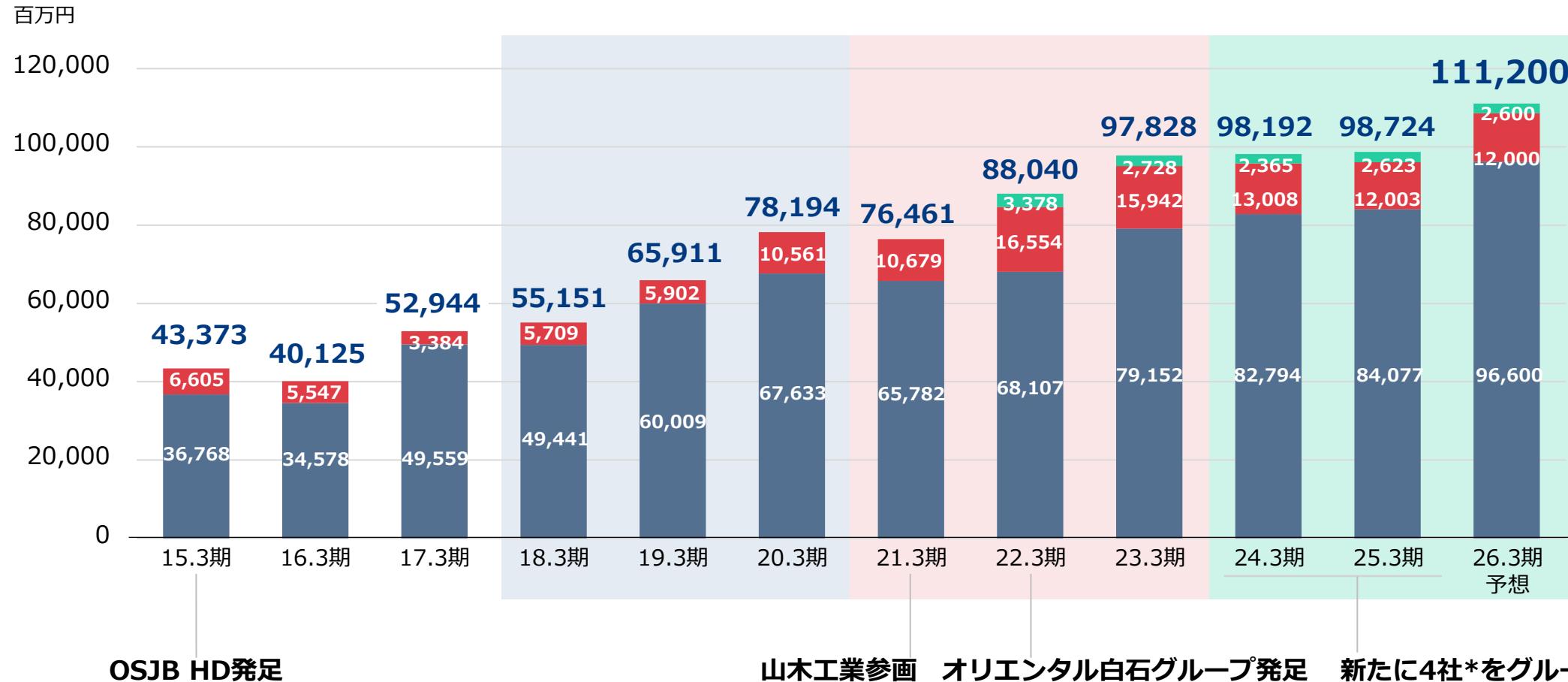
- ◆ 元発注者 東京都財務局
- ◆ 発注者 戸田建設・西松JV
- ◆ 契約者 オリエンタル白石
- ◆ 工事概要 3号ケーソン(異形)：延長 79.5m 幅 56.4m 構築高 35.8m
5号ケーソン(異形)：延長 79.5m 幅 47.5m 構築高 35.8m

補修補強工事

道央自動車道
苫小牧川橋
床版取替工事

- ◆ 発注者 東日本高速道路株式会社 北海道支社
- ◆ 契約者 オリエンタル白石
- ◆ 工事概要 道央自動車道白老IC～苫小牧中央IC間に位置する錦多峰川橋（上下）および
苫小牧川橋（上下）において、プレキャスト床版取替工事他、リニューアル工事

受注残高の推移



中期経営計画2017-2019 → 中期経営計画2020-2022 → 中期経営計画2023-2025
 ~『らしさ』で築きあげる 安定と成長~ → ~グループの『安定と成長』を止めない~ → ~さらなる成長に向けた競争力の向上と新たな挑戦~



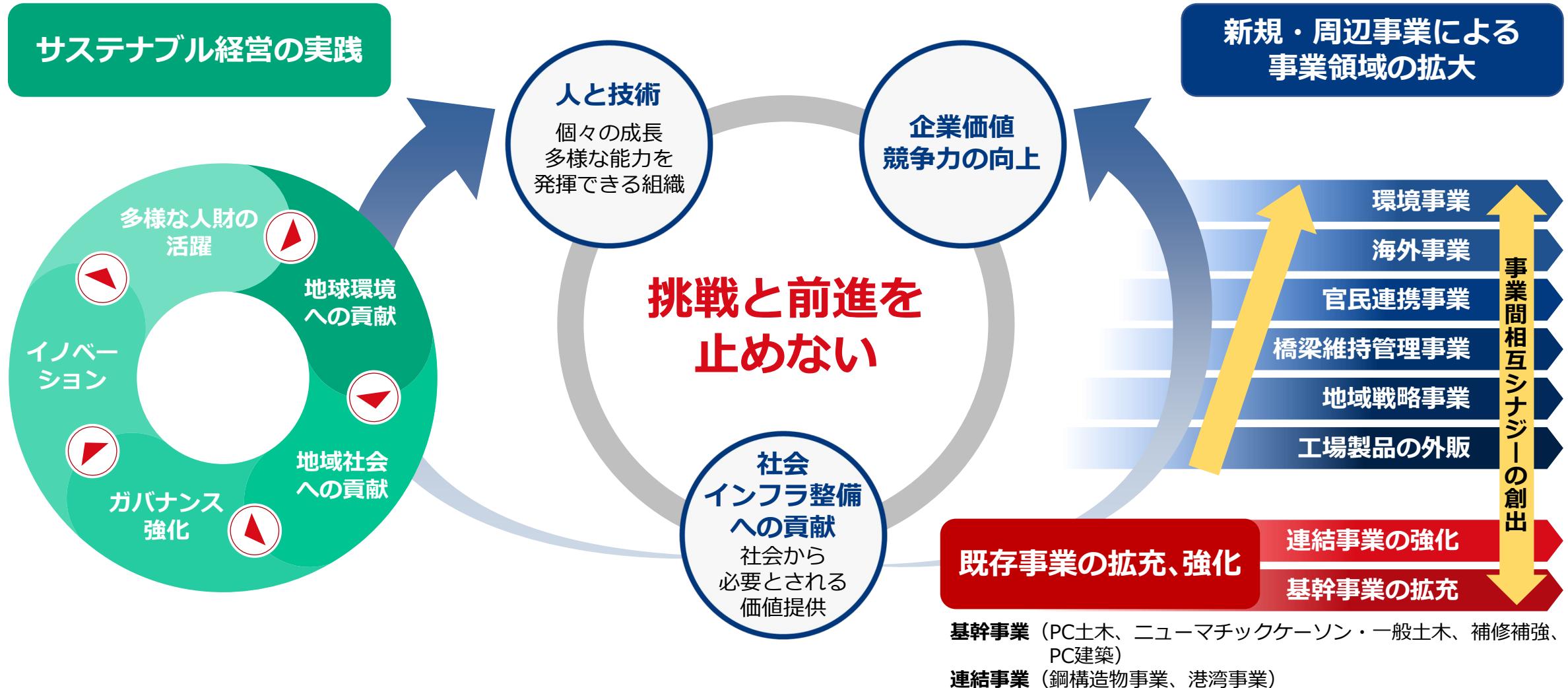
III

中期経営計画(2023-2025) の 概要及び進捗

※中期経営計画（2023-2025年度）最終年度

2030年の将来像

人財と技術の多様性を活かし、社会インフラ整備の様々な需要に応え、挑戦と前進を続ける企業集団

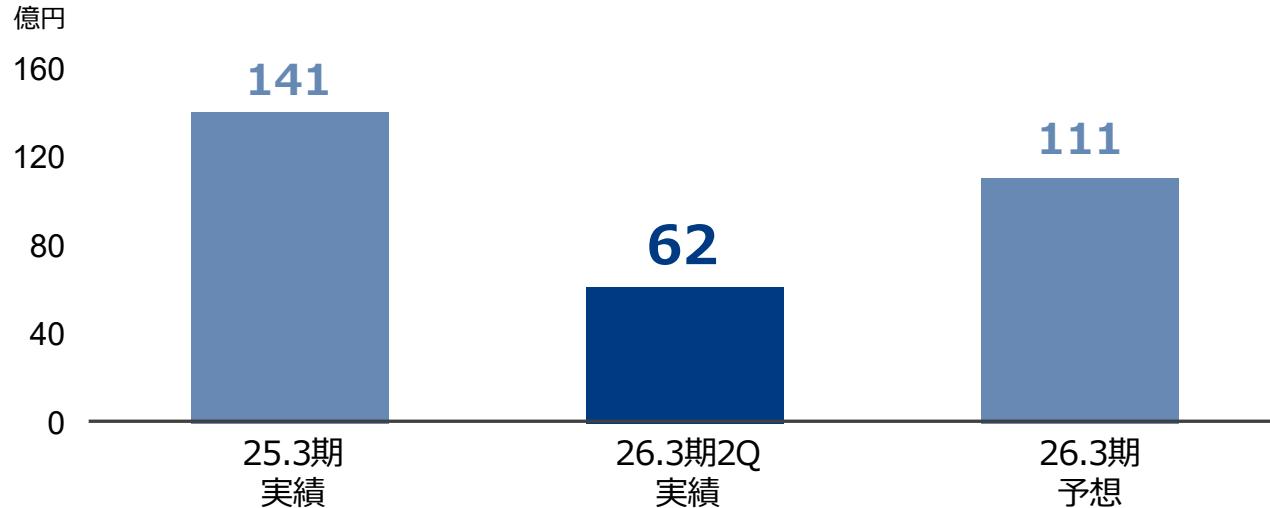




- 1 国土強靭化、インフラ老朽化対策などの社会的課題の解決に貢献し、これを業績の向上につなげる
- 2 基幹事業のさらなる充実、連結事業の強化、新規・周辺事業の成長と領域拡大を推進し、グループ全体の発展を図る
- 3 DXや技術開発、他社・他業種との連携により、事業生産性を高める
- 4 教育、研修など“人への投資”を促進し、競争力豊かな人財の構築を図る
- 5 バランスのとれた投資、還元戦略を実行する
- 6 カーボンニュートラルに向け、脱炭素施策の推進と技術開発を継続する

PC土木 (新設橋梁他)

売上高



施策

◆ 公共工事におけるシェアと実績の拡大

- ① 総合評価力、技術提案力の強化
 - ② 特化工法の採用拡大
 - ③ モノレールや高速道路6車線化など難易度の高い工事での実績
- ◆ 国交省や自治体、北海道新幹線、大阪モノレールなどのPC新設橋梁を中心とした事業を進めます。
- ◆ 今後は、国交省工事他の受注残の確保に努めます。

進捗



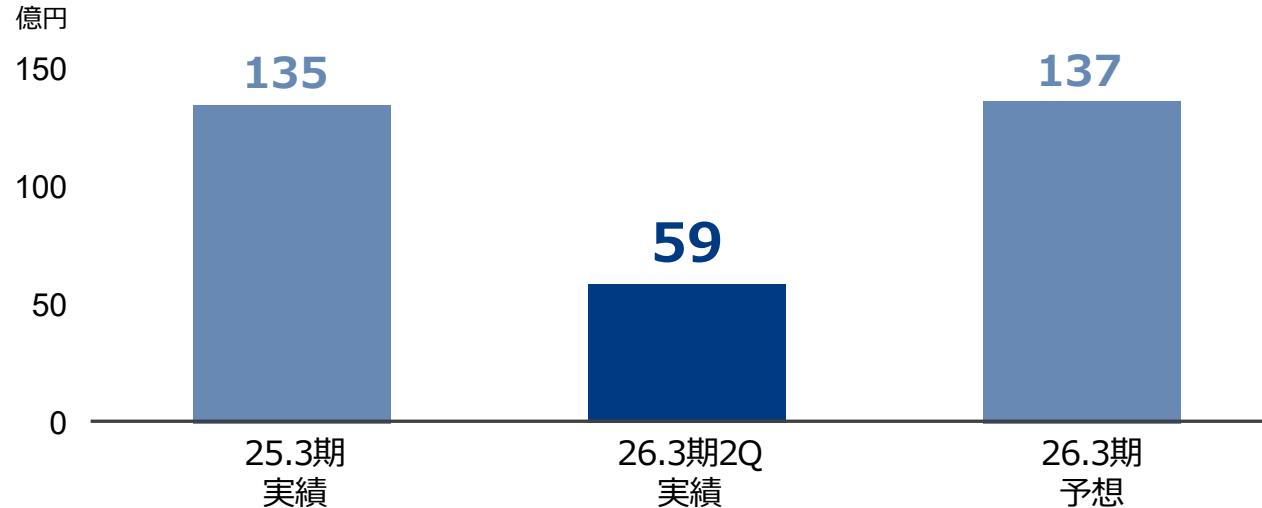
すさみ串本道路江田川橋上部工事
山間部で張出架設で施工するPC4径間連続ラーメン箱桁橋



北海道新幹線、南一線橋りょう
初採用されたプレキャストPC単純U形桁を施工

ニューマチックケーソン／一般土木

売上高



施策

- ◆ ニューマチックケーソンの橋梁と治水設備等への事業拡大
 - ① 繼続的な設備投資による技術と施工能力の向上
 - ② 技術開発による遠隔化、自動化など生産性と安全性の向上
 - ③ 大型工事の期ズレ影響、その影響緩和を図る技術営業強化による工法の採用拡大
- ◆ 橋梁基礎に加え、首都圏治水関係（調整池、ポンプ場）を中心事業を進める。
- ◆ 今後も、橋梁基礎、都市部の治水関係、シールド立坑や、防衛施設関係での、ケーソン採用を働きかける。

進捗



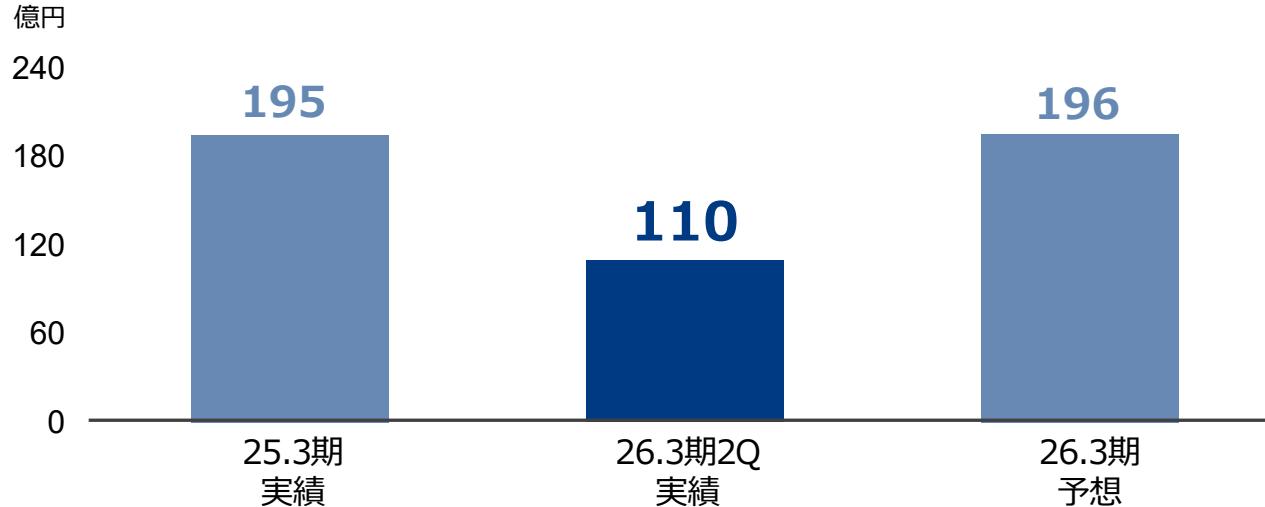
前川大橋P3ケーソン工事
ヘリウム混合ガス使用の大深度橋脚ケーソン工事



巴波川捷水路到達立坑ケーソン工事
浸水対策の地下トンネル捷水路到達立坑をケーソンで施工

補修補強

売上高



施策

◆ 事業量の確保と収益力の維持を図る

- ①特化工法の開発と採用拡大
- ②事業量の確保とともに特殊技術によるブルーオーシャンの開拓
- ③長期大型工事の戦略的受注

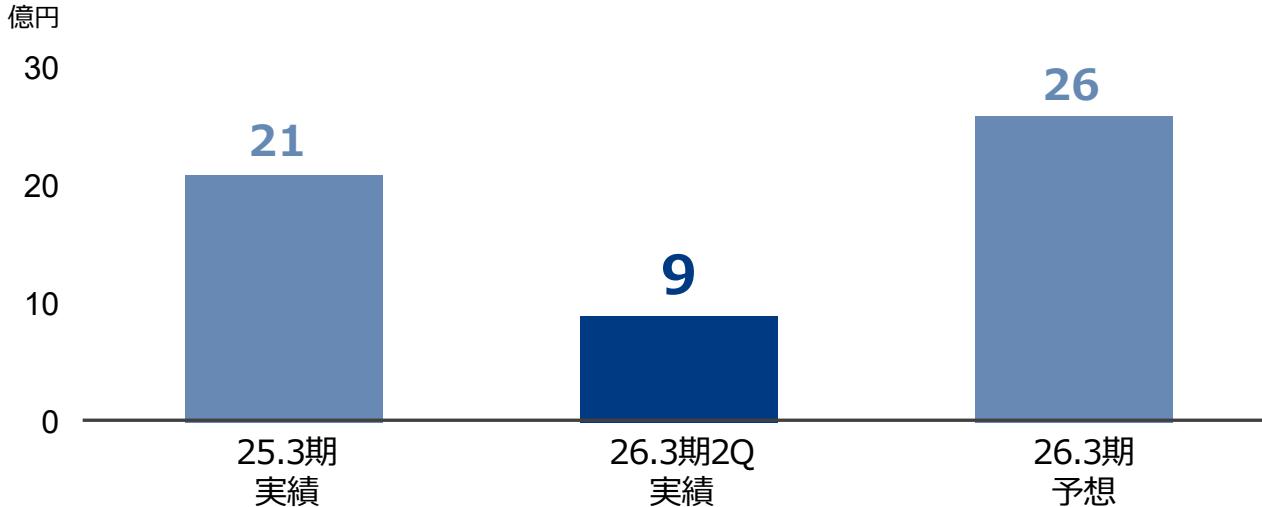
進捗

- ◆ 大規模更新の床板取替や橋梁架替え、耐震補強、塩害対策工事に加え、橋梁下部・基礎の耐震補強工事を中心に事業を進める。
- ◆ 大規模更新工事や橋梁下部・基礎の耐震補強工事への当社特化工法の採用を働きかける。



PC建築

売上高



施策

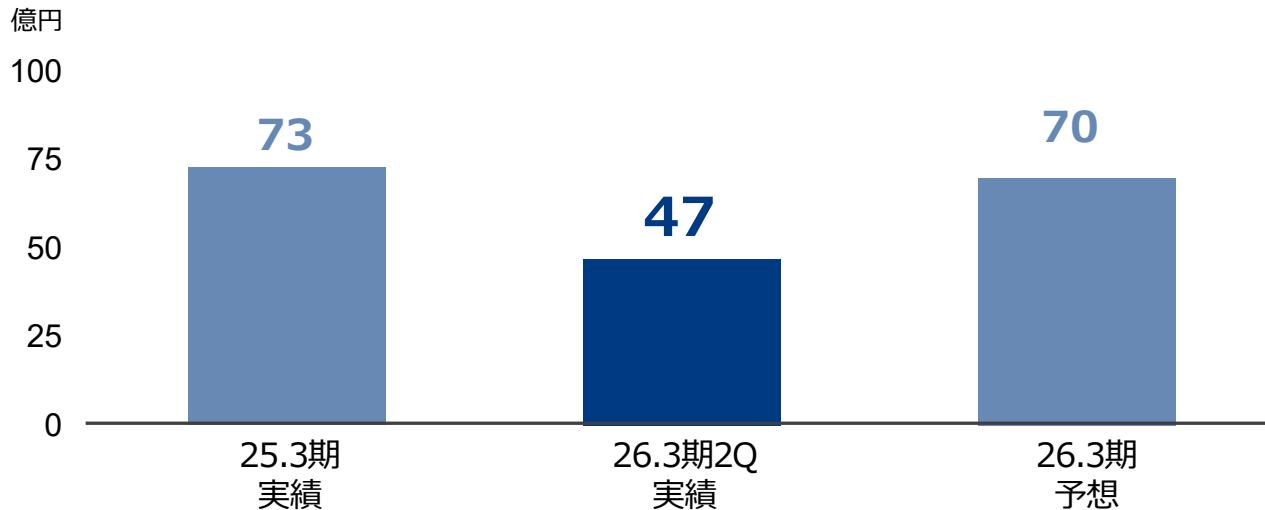
- ◆ プレキャストコンクリートのすう勢の中でのPC構造の関係を拡大する
 - ①元請下請連携強化による積極的な大型プロジェクト等への参画
 - ②顧客基盤の強化と積極的な提案
- ◆ 公共施設、学校、防衛施設や、半導体工場のプレキャスト工事を中心に、事業を進める。
- ◆ 今後は、防衛施設に加え、スタジアム・アリーナ、次世代エネルギー施設などへのプレキャスト採用に向けて提案を行う。

進捗



鋼構造物事業

売上高



施策

- ◆ 新設橋梁と補修補強のバランスの中で売上・利益の拡大を図る
 - ① 総合評価力と設計・施工体制の強化
 - ② IH塗膜剥離工法など鋼構造周辺事業への注力

進捗

- ◆ 鋼橋新設工事や、鋼橋補修補強工事を中心に事業を進める。
- ◆ 今後は、新設、補修補強工事に加え、塗装塗り替え工事など、事業領域を広げていく。

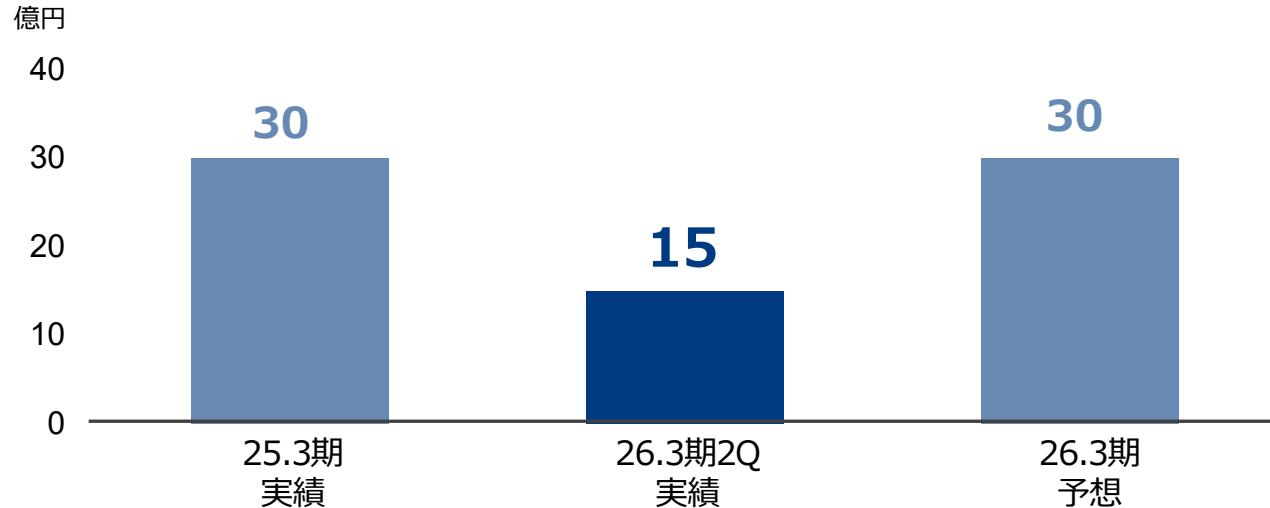


箱島インターチェンジ橋
県道上に鋼4径間連続非合成2主箱桁橋を架設



港湾事業

売上高



施策

- ◆ 港湾、土木の中小工事で受注・売上を確保するとともに今後本格化するカーボンニュートラルポートプロジェクトへの準備を進める
 - ① 地域に密着した事業展開
 - ② グループのシナジーを活かした橋梁事業への展開
- ◆ いわき、小名浜港を拠点とした港湾、土木工事を中心に、事業を進める。
- ◆ 今後は、カーボンニュートラルポートプロジェクトへの準備を進めながら、拠点外の港湾下請け工事やPC新設橋梁工事の売り上げ確保を目指す。

進捗



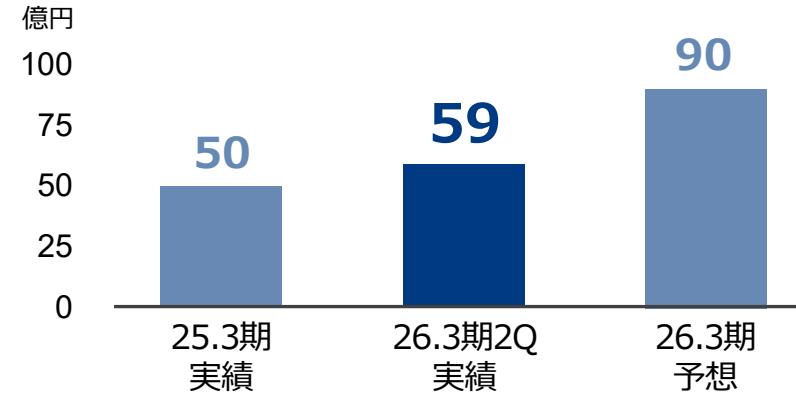
相馬港本港地区防波堤（沖）（改良）上部外工事
同業者と連携して拠点外への進出



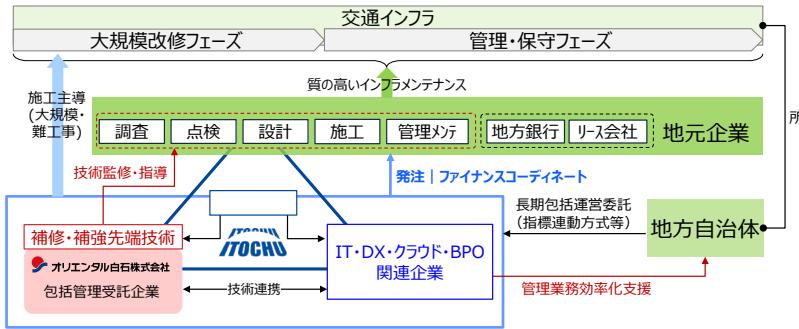
赤沼川河川改良工事（南町1号橋上部工）
グループのシナジーを生むべくPC橋梁工事を受注、施工

新規・周辺事業

売上高



当社が提案する橋梁維持管理における官民連携事業
橋りょう包括的民間委託スキームの精緻化



令和5年度の国交省モデリング事業採択企業として、国交省および指定都道府県と共同で、橋梁メンテナンスの官民連携スキーム実現に向けた具体的な課題と効果を報告書に取りまとめ提出



大規模更新 床版取替用
プレキャストPC床版 (SLJスラブ)

工場製品外販	床版、PCa*コンクリート製品の外販
地域戦略事業	地域に強みのある会社を提携やM&Aでさらに強化
橋梁維持管理事業	橋梁の点検・診断、補修、補強、鋼橋塗装塗替
官民連携事業	橋梁インフラ維持管理
海外事業	ニューマチックケーソンやPC・補修補強の技術を他社連携のもと、海外で活かす
環境事業	循環型農業（アクアポニックス）システム外販等

*PCa : プレキャストコンクリート

進捗

- ◆ 工場製品外販：床版、桁やPCa製品をゼネコンに販売。
- ◆ M&A：M&Aによりグループを強くし、シナジーを生むべく連携中。
- ◆ 官民連携事業：橋梁維持管理業務に関するスキームにおいて、地方自治体と協議。
- ◆ 海外事業：インドネシアでのケーソン技術指導と機材リース並びにアメリカでの技術提供契約つい。

事業領域の拡大

M&Aによる新たなシナジーの創出



- ◆ 東北随一の施工能力を有する岩手県北上市の重機土工会社。
- ◆ 当社コネクションを活用した下請営業の強化。



株式会社 菊政工務店

- ◆ 難易度の高い工事にも対応してきたケーソン専門工事業者。
- ◆ 効率化と競争力を高めるため、タイコー技建と統合予定。



株式会社 テンカリノテック

- ◆ 脱塩、再アルカリ化などの特殊技術を持つ補修補強会社。
- ◆ 当社特化工法も担当し、工事の選択肢をひろげる。



株式会社ファンテクノロジー

- ◆ ソフトウェアの商品化に向けた財務基盤強化。
- ◆ 施工の自動化における技術開発；委託先の確保。
- ◆ 持続的な技術開発に向けたグループ内内製化。
- ◆ 相互の技術交流による人材育成。

海外事業

2008年以来の海外工事への参画

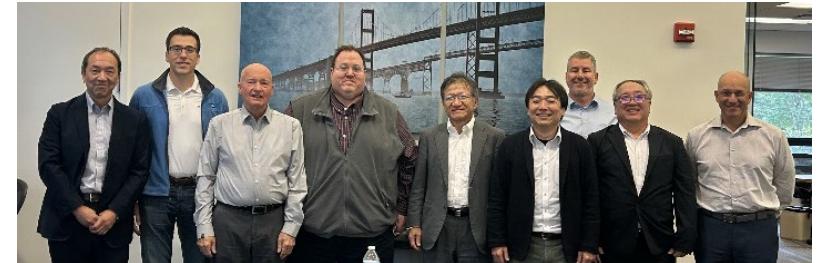
- ◆インドネシア下水処理施設工事に、2023年6月より、ケーソン工法に関する技術支援と機材リースで参画。後続工事も引き続き対応予定。



ジャカルタケーソン工事

当社耐震補強工法の海外展開

- ◆当社耐震補強工法（PRP工法／STEP工法）の技術提供契約をアメリカST社と締結。
- ◆遠隔または現地での技術支援を行いつつ、契約に基づいたロイヤリティ収入を得るスキームで契約。



アメリカST社訪問

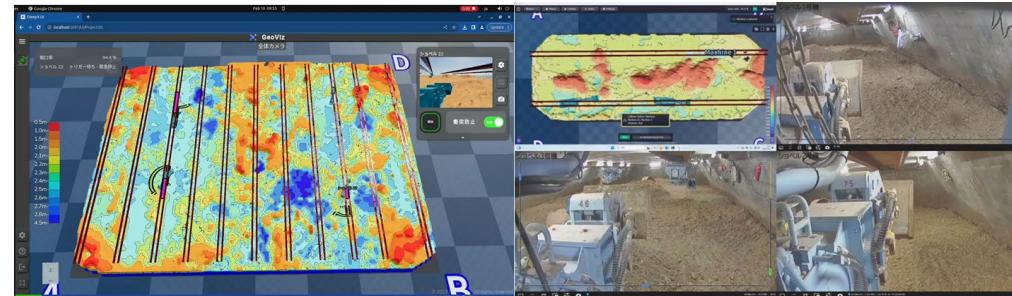


ST社カタログ

生産性向上

ニューマチックケーソンの自動運転システム 成長投資

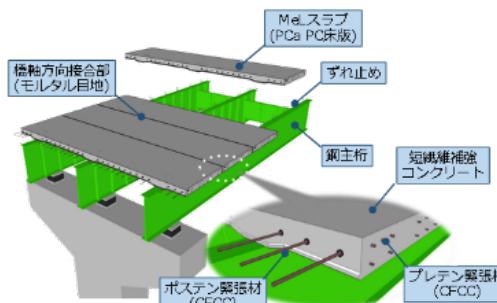
- ◆ 3D地盤計測による作業室内測量業務のデジタル管理・効率化、遠隔操縦ショベルと自動運転ショベルによる協調作業による地山掘削・運搬作業の自動化に関する現場試行。
- ◆ **大型ケーソンの生産性を劇的に向上！**



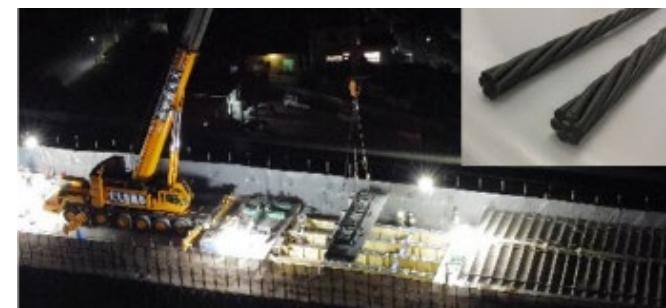
3次元可視化システムと自動運転システムによる掘削

高耐久プレキャスト床板 MeLスラブの実装 成長投資

- ◆ 繊維補強コンクリートに、腐食しない構造材料である炭素繊維複合材ケーブル (CFCC) を補強材として使用したプレキャストPC床版。
- ◆ 沖縄自動車道許田高架橋の床版取替工事で採用。
- ◆ **沿岸など腐食環境下の橋梁に最適な床板！**



MeLスラブ構造概要



適用工事における架設状況

ニューマチックケーソンの長距離遠隔操縦 成長投資

- ◆ ケーソンショベル長距離遠隔操縦。衛星回線や光回線を利用し、遠隔地から各現場のケーソンショベル操縦を遅延なく実現。今後現場運用へ。
- ◆ **少子高齢化や、働き方改革、労働環境改善などの諸課題を解決！**



豊洲オフィスとつくば研修施設間の遠隔操縦

生産性向上と、担い手の育成

つくばテックファームの設備増強

経常投資

- ◆ニューマチックケーションの技術開発と、操作訓練を兼ねた施設である「テックファーム」に排土設備（ABキャリア）を追加設置。
- ◆自動運転の研究開発の加速化と、若手技能労働者の教育・育成を同時に実現！



「テックファーム」における
排土設備（ABキャリア）

環境負荷低減への取り組み

エフキュア®コンクリート 戰略投資

- ◆特殊添加剤の使用により蒸気養生を不要とし、CO₂排出量60%削減したエフキュア®コンクリートを開発。
- ◆工場のコンクリート製造過程における低炭素化と生産性向上を実現！



初適用工事におけるプレキャストPC桁の仮設状況



工場ストック状況

消波ブロックへの低炭素コンクリートの適用 戰略投資

- ◆小名浜港の消波ブロックで、セメントの7~9割を高炉スラグ微粉末に置換する低炭素コンクリートを使用し、製造時のCO₂排出量を約65~85%削減する実証実験を実施。
- ◆グループ連携しながら低炭素へ取組む！



初適用された消波ブロック

PC工場生産能力向上と港湾事業拡大に向けて

滋賀工場のリニューアル 成長投資

- ◆高桁高セグメント桁並びに高緊張力製品などの大規模製品に対応したライン設備。
- ◆コンクリート床版などの効率的な生産。
- ◆太陽光発電設備を設置により、電力の一部を再生可能エネルギーで代替。

» 基幹事業や新規周辺事業を伸ばすべく、製造能力の強化！



新設されたライン棟

山木工業 新造船 成長投資

- ◆新型起重機船団の造船を行い、2船団体制とし、港湾工事能力の強化を図る。
- ◆新型重機船団では、内燃機関燃料の変更（A重油から軽油へ）、環境配慮の実現（太陽光発電設備や蓄電システムを搭載）、安全性向上（ICT技術を活用し乗務員の安全確保）が可能となる。

» 小名浜港や拠点外の港湾工事能力の強化を図るとともに、カーボンニュートラルポートプロジェクトに備える！



進水式

積極的な株主還元施策の推進

当社は資本効率の向上と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の一環として、自己株式取得を実施。

2026年3月期 目標

配当性向	50%
総還元性向	70%程度

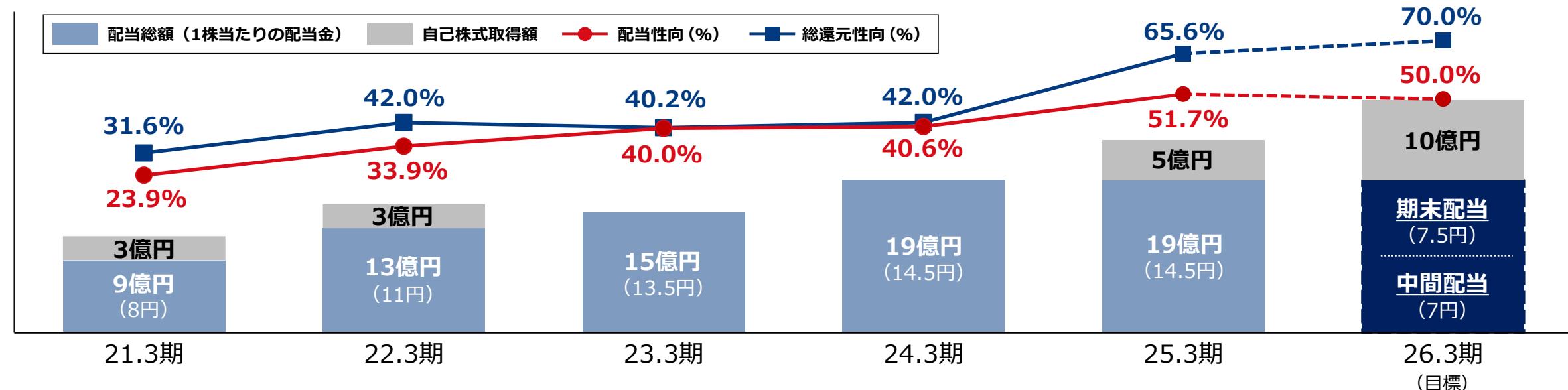
中間配当 → 11月12日に中間配当7円を決議

自己株式取得

■ 取得価格総額：10億円 ■ 取得終了日：2025/7/25

今後の方針

研究開発や設備投資、M&Aなどへの戦略投資や気候変動等サステナビリティ関連への投資を実行するとともに、安定的かつ継続的な株主還元の改善を図る。



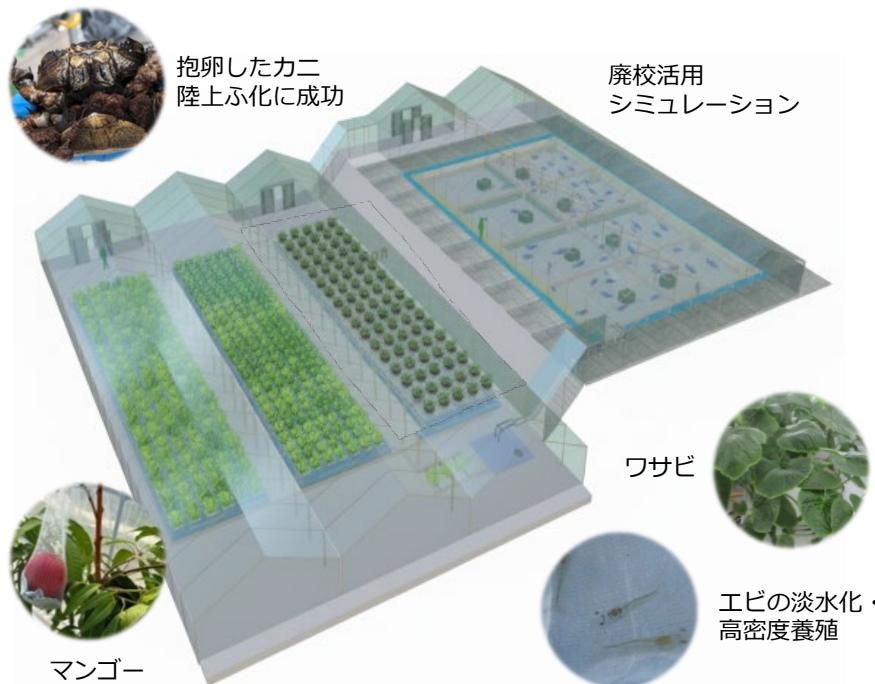


Appendix

アクアポニックス・メタン発酵システム開発事業

新アクアポニックス (TOSS-APS®) の市場ニーズ対応

- ◆多様な生産物の栽培・養殖に対応したTOSS-APS®によって、廃校などの遊休施設課題の解決に向けたプロジェクトの具体化を進行中。
- ◆さらに製造方法の異なる3種類の養殖水槽をパイロットプラントに建設し運用中。



メタン事業 プロジェクトの具体化とアプローチ領域

- ◆NEDOウズベキスタン実証F/Sは9月に完了。国内では各種要因を設定した小型試験機による実験を実施中。事業拡大に向けたアプローチ領域として、畜産農家やごみ処理課題を持つ自治体を主なターゲットに強化予定。



持続的な社会の実現に向けて

SBTi認証

- ◆ FTSE Blossom Japan Indexに初選定

英国FTSE Russell社が算出・公表するESG投資指標であり、日本国内においてESG対応の優れた企業を選定。

- ◆ SBT認定を取得

オリエンタル白石グループの2030年度温室効果ガス削減目標が、SBTiよりSBT認定を取得。



FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Index
のロゴマーク



**SCIENCE
BASED
TARGETS**

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

Science Based Targets (SBT)
イニシアチブのロゴマーク

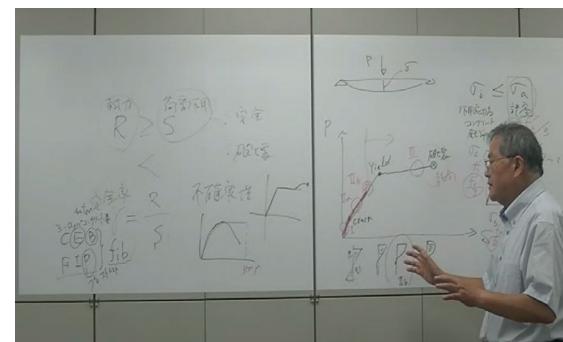
人財育成と技術承継



- ◆ 「建設施工の自動化・ロボット化の経緯と今後の開発動向」の講義



- ◆ 「鋼材の腐食について」の講義



- ◆ 「構造物信頼性設計法の基礎」の講義



- ◆ 「コンクリート工学の基礎と研究開発事例」の講義



オリエンタル白石株式会社